

そのアイデア  
求む!

(※あしからず理工系学生限定です。)



100

理工系教育支援企画

テクノ  
ルネサンス  
ジャパン

<第2回>

理工系学生の  
あなたへ

企業に研究開発してほしい  
**未来の夢**  
アイデア・コンテスト

理工系学生の皆さんは日ごろの研究のなかで、「企業が持つ最先端技術があればこんなことができるかも」「こんな製品があれば未来はすてきになるはず」と思い描くことがあることでしょう。「企業に研究開発してほしい未来の夢」アイデア・コンテストは、そんなアイデアと企業の技術や事業を組み合わせたらどんな画期的なことができるかを考える場です。参加企業が示す各社の募集テーマと技術情報をもとに、「企業に研究開発してほしい未来の夢」をご提案ください。実証データは必要ありません。ぜひ、この機会にあなたの「夢」を「カタチ」にしてみましょう。

賞金総額 **650万円!!**

最優秀賞50万円、優秀賞30万円、優良賞20万円(いずれも参加企業ごとに各1点)  
テクノルネサンス・ジャパン賞10万円(5点)

東京農工大学にて、オリエンテーション開催!!

参加申込受付中!!

当日の参加者には、500円分の  
QUOカードをプレゼント!

参加企業の事業や技術などを紹介し、アイデア応募のポイントを説明します。アイデアづくりの参考にしてください!!

日時

**7月16日(木)**  
14:45~16:15(4限目)

場所

小金井キャンパス  
新1号館1階  
L0111教室

■プログラム

開催挨拶  
日本経済新聞社による企画趣旨のご説明  
参加企業によるプレゼンテーション  
質疑応答

参加企業

AsahiKASEI

From Information  
to Value QUICK

住友化学

'TORAY'

Innovation by Chemistry

NAVITIME

muRata 村田製作所

コンテストについて  
詳しくは

<http://nikkei-techno.jp/>

お問い合わせ先:MOC テクノルネサンス・ジャパン事務局 電話:0120-58-8873(土、日、祝日除く:10:00~18:00) mail:info@nikkei-techno.jp

# 参加企業と募集テーマ

**AsahiKASEI**

**昨日まで世界になかったものを。**  
～多角化企業の旭化成だからこそ  
実現できるアイデアを求めます～

旭化成グループは、「人びとのいのちとくらしに貢献します」という経営理念のもと、石油化学、繊維、住宅・建材、医薬・医療、エレクトロニクスなどの様々な事業分野を展開し、グローバルに成長を続ける企業を目指しています。多角化企業である旭化成グループは、多様な市場と多彩な技術に基づく多面的な事業モデルを展開する強みを活かして、様々な技術、人材、市場へのアクセラを融合して、企業価値の増大に向けてまい進しています。今後の研究・技術開発の重点領域は、電子材料・電子部品などのエレクトロニクス分野、次世代のスーパー繊維や高機能樹脂などの高機能ケミカル分野、水処理技術や電池材料・燃料電池などの環境・エネルギー分野、そして先端医療技術を追及する医療分野です。これらの分野において積極的な投資を行い、事業の拡大とグローバル展開が可能な新規事業の創出を加速しています。皆さんには、これらの分野にとどまらず、様々な視点や発想から、新しい事業の提案やアイデアを幅広く募集します。

From Information  
to Value **QUICK**

QUICKは、公正・中立な立場から、IT・通信技術を駆使した付加価値の高いマーケット情報を提供する専門企業として、日本の証券・金融市場の健全な発展を支える信頼性の高いインフラの役割を担ってきました。2008年に発生した世界的な金融危機は、日本経済にも大きな影響を与え、タイムリーで正確な経済情報の必要性はますます高まっています。そこで、今後QUICKが提供すべき新たな情報サービスについて、これまでの常識にとらわれない斬新なアイデアを募集いたします。必ずしもマーケット情報や経済統計だけが経済情報ではありません。皆さんの興味や関心のあることも、何らかの経済活動として、その先はどこかで世界経済とつながっているのです。そうしたものをどのように情報として取り出し、どのように伝えて行くか、柔軟な発想で取り組んでください。

**世界が求める  
新たな経済情報サービスとは**  
～運動性を深めている世界経済の動きを速く、正確に、必要  
な情報だけに絞って的確に伝えるための新たな経済情報  
サービスとその手法・技術を提案してください～

**住友化学**

**求む、超・創造的ハイブリッド**  
～あなたのアイデアが世界を変える～

より良い生活の実現と環境問題の改善。その両立の鍵を握っているのは化学の力であると私たちは考えています。住友化学では異なる技術の融合により新たな価値を生み出す、「創造的ハイブリッド・ケミストリー」をスローガンに、身の回りの快適な衣食住の実現から、地球規模の食糧問題、環境問題、資源・エネルギー問題の解決まで、積極果敢にチャレンジしています。例えば、薬剤コントロール技術、高分子技術、殺虫剤技術といった当社の高度な要素技術を融合させて従来の蚊帳を進化した「オリセットネット」の開発に成功しました。材料の合成樹脂に殺虫剤を練りこみ、薬剤が徐々に内部から放出される「オリセットネット」は、WHOが推進するマラリア防圧作戦に大きく貢献しています。皆さんの若く柔軟な発想による、私たちの「ハイブリッド・ケミストリー」を超える、「超・創造的ハイブリッド」なアイデア、提案をお待ちしています。

**TORAY**  
Innovation by Chemistry

東レの経営理念は、「わたしたちは新しい価値の創造を通じて社会に貢献します」であり、「Innovation by Chemistry」をコーポレートスローガンとして、Chemistryを核に技術革新を追求し、「先端材料で世界のトップ企業」を目指すことをうたっています。そのコア技術は、有機合成化学、高分子科学、バイオテクノロジー、ナノテクノロジーです。21世紀の世界を考えたとき、「地球環境」、「資源・エネルギー」、「少子高齢化」などの経済成長の制約要因を克服することが喫緊の課題です。そこで、これらの課題を解決するために、あなたが東レに創ってほしい先端材料を提案してください。提案に当たり、①科学技術が地球を救う、②複数の技術の融合による新技術・新製品創出、③産学連携によるオールジャパンの総合力発揮、という3つの着眼点で検討してください。

**21世紀を牽引する材料とは**  
～あなたが東レに創ってほしい先端材料は～

**NAVITIME**

**あなたがナビタイムに  
創ってほしいサービスとは**  
～ナビゲーションで世界の  
デファクトスタンダードを目指す～

人はどこかに移動する際、道に迷う不安や遅刻する心配などストレスを感じながら生活しています。ナビタイムでは、目的地と到着したい時刻を設定するだけで電車・飛行機・クルマ・バス・徒歩など様々な移動手段から、最適なルート検索を行い、世界中の人が安心して移動できるように目指しているサービスです。ナビタイムでは、行き方を調べる機能に加え、グルメ・病院・ホテルなど行きたい場所の検索、さらにはルートに表示された飛行機や電車などの予約ビジネスなど、位置情報に特化したサービスやビジネスを展開して参りました。今回は、ケータイサイトNAVITIMEあるいはEzナビウォークを使って、「こんなサービスがあったら」、「こんなビジネスモデルが展開できる」といった、既存の機能にはない、斬新な発想を募集いたします。学生の方の新たな発想で、日本のみならず全世界でも展開できるアイデアをお待ちしています。

**muRata 村田製作所**

村田製作所は「Innovator in Electronics」をスローガンに、最先端の技術・製品を創出する総合電子部品メーカーです。材料開発からプロセス、設計、生産、ソフトウェア技術まで、一貫生産体制のベースとなるあらゆる要素技術を豊富に蓄積しています。「ムラタセイサク君」はそんなムラタの技術や製品をPRするために開発された自転車型ロボットです。搭載されている部品や制御・回路設計技術はすべて自社製。不倒停止や坂道/S字走行、障害物検知などの特技をこなし、最近では理科教育やテレビコマーシャルに大活躍。昨秋には一輪車型ロボット「ムラタセイコちゃん」も登場しました。今回のテクノリネサンスではセイサク君、セイコちゃんにつくコミュニケーションを持った仲間(家族・友人・ペット?)を募集します。条件はひとつ、電子部品の可能性をフル活用すること! 斬新でチャレンジングなアイデアをお待ちしています。あなたがロボットに託す夢や情熱をお聞かせください。

**電子部品をフル活用した  
ムラタセイサク君ファミリーを  
大募集**  
～あなたが創るミライのロボット!～

**テクノリネサンス  
ジャパン**

**企業に開発してほしい  
未来の夢**

独自のアイデアに基づいた技術やビジネスモデルなど「企業に開発してほしい未来の夢」を募集します。身近にあったらいいと思う製品やサービス、環境問題などを解決するための技術など、何でもOKです。日ごろ勉強していることを活用したら、社会をこんなに豊かにできるはず、生活をこんなに便利にできるはず。そんな自由な発想でアイデアを応募してください。

テクノリネサンス・ジャパン賞に応募する場合は、  
参加企業賞へのダブルエントリーも可能です。  
※1応募につき1社まで。

【主催】日本経済新聞社  
【共催】日経サイエンス  
【後援】文部科学省、独立行政法人国立高等専門学校機構、高分子学会、電気学会、日本化学会、日本機械学会  
【参加企業】旭化成株式会社、株式会社QUICK、住友化学株式会社、東レ株式会社、株式会社ナビタイムジャパン、株式会社村田製作所  
【協力】秋田大学、茨城大学、宇都宮大学、愛媛大学、大阪大学、岡山大学、香川大学、関西大学、関西学院大学、北見工業大学、岐阜大学、九州工業大学、九州大学、京都工芸繊維大学、京都大学、熊本大学、群馬大学、慶應義塾大学、神戸大学、埼玉大学、埼玉大学、静岡大学、芝浦工業大学、島根大学、上智大学、信州大学、千葉大学、中央大学、筑波大学、電気通信大学、東京海洋大学、東京工業大学、東京大学工学部、東京農工大学、東京理科大学、同志社大学、東北大学、徳島大学、鳥取大学、富山大学、豊橋技術科学大学、長岡技術科学大学、名古屋工業大学、名古屋大学、新潟大学、弘前大学、広島大学、福井大学、福井工業大学、北海道大学、三重大学、室蘭工業大学、山形大学、山口大学、山梨大学、横浜国立大学、立命館大学、和歌山大学、早稲田大学(2009年6月3日現在)

**応募概要**

- 内容:「企業に研究開発してほしい未来の夢」アイデア・コンテスト
- 募集期間:2009年6月1日～8月31日(必着)
- 参加資格:大学生、修士課程・博士課程大学院生、高等専門学校生(3年生以上及び専攻科)の個人またはチーム(チームは5名まで)。チームで応募する場合、チームリーダーが理工系学生であれば、文系学生の場合も自由です。
- 提案方法:パワーポイント10枚以内でアイデアシートを制作してください。テーマのアイデアが理解しやすいよう、図、イラスト等の添付は自由です。また、応募するアイデアには、実証データやエビデンスは必要ありません。アイデアシートに加え、400字以内の要約を作成してください。要約シートのテンプレートは、ホームページhttp://nikkei-techno.jp/からダウンロードできます。※応募締切後にアイデアシートの内容を変更することはできません。
- 応募方法:まず、ホームページhttp://nikkei-techno.jp/のエントリーページより必要事項をご記入の上、エントリーを行ってください。下記事務局宛に郵送またはe-mailでお送りください。お送りいただくものは、**<郵送の場合>**①アイデアシートのデータ ②プリントアウトしたアイデアシート:1部 ③要約シートのデータ ④プリントアウトした要約シート:1部 の4点をお送りください。なお、①と③のデータは同一のメディア(フロッピーディスクやCD-Rなど)に保存していただいても構いません。**<e-mailの場合>**①アイデアシートのデータ ②要約シートのデータをお送りください。なお、添付ファイルの総容量は5MB以内としてください。附属データ等でファイル数が5点以上になる場合は、念のためホルダーでまとめて圧縮するか、2回に分けて送信ください(送信タイトルは同一名称の上末尾に1/2、2/2を付けてください)。**<作品郵送先>**〒101-0048東京都千代田区神田町2-2-7 MOC テクノリネサンス・ジャパン事務局「企業に研究開発してほしい未来の夢」アイデア・コンテスト係<e-mail送先>mail:info@nikkei-techno.jp
- 審査期間:2009年9月1日～12月上旬 □審査員:各参加企業研究員(敬称略)
- 審査方法:各参加企業研究員が、各社のテーマに応じた応募作品を審査し、受賞作品を決定します。
  - 一次審査/書類選考 ●最終審査/各参加企業別プレゼンテーション ●最終審査のプレゼンテーションは、各参加企業にて実施します(チームの場合は2名まで)。※選考過程や結果に対するお問い合わせにはお答えすることができません。※テクノリネサンス・ジャパン賞の審査委員長は東京工業大学の岡崎健先生です。最終審査のプレゼンテーションは東京にて開催する予定です。
- 結果発表:2009年12月(日本経済新聞広告紙面内およびホームページ上にて) □表彰式イベント:2010年1月中旬(東京にて開催)
- 賞金:最優秀賞50万円、優秀賞30万円、優良賞20万円(いずれも参加企業ごとに各1名)※テクノリネサンス・ジャパン賞10万円(5名)

※エントリー時にご記入いただいた個人情報は、本コンテストに関するご連絡のみに使用いたします。ただし、登録者の同意を得た場合のみ、情報提供に必要な個人情報を参加企業に提供することがあります。※応募するテーマは必ずオリジナルのものにしてください。また、どの企業とも共同研究を開始しないものに限りません。※著作権に関しては、原則的には各個人、チームに帰属しますが、企画運営に必要な範囲内において主催である日本経済新聞社に帰属する場合があります。※技術・商品・サービスの開発にまで進展する場合は、関わる個人、大学(研究室)、企業それぞれの協議によって、各権利を明確に規定してください。※応募された作品は、返却いたしませんので、各提案物は複製していただき、また、一度応募した作品の変更はできません。応募をキャンセルする場合は、テクノリネサンス・ジャパン事務局宛にご連絡ください。※本コンテストの入賞内容は2009年12月掲載予定の日本経済新聞広告紙面および2010年1月開催予定の表彰式にて公表されます。また同時にホームページ上にも公開いたします。特許法第29条には、「特許出願前に日本国内又は外国において公然知られた発明は特許を受けられない」と定められています。したがって、本コンテストへの応募内容と同等の技術によって特許を取得しようとする応募者は公表以前に特許申請を行ってください。※応募内容が他者の知的所有権を侵害することのないよう十分注意してください。他者の知的所有権侵害による問題は応募者の責任となります。